



標小だより

令和5年7月21日発行 責任者 校長 高橋知毅
URL <http://town.shibecha.ed.jp/shibecha-e/htdocs>

標小がめざす子ども像

- 自ら学ぶ子（知）
- 人のために行動できる子（徳）
- 自他を尊重する子（徳）
- 心身の健康安全に向け挑戦する子（体）



随時更新！
標小ホームページへアクセス

子ども達にとって有意義な夏休みに

校長 高橋知毅

■1学期、1日1日を「貴重な学びの機会」とし、子ども達は一步ずつ歩みを進めながら着実な成長を遂げています。何よりこの成長は、生活や学習の一つ一つにしっかりと向き合い、真剣に取り組んだ一人一人の努力の証であり、子ども達の可能性や成長を信じて熱心に指導にあたった教職員、その指導を理解し支えていただいた保護者・地域の皆様のおかげであると感謝しております。ありがとうございます。

さて、本日の終業式では、子ども達に1学期にがんばったことや成長した姿を伝えるとともに、夏休み中の生活について「事故のない安全な生活」を心がけ、自分の命は自分で守ることの大切さについてお話ししました。また担任からは一人一人の伸びや成長、今後の課題などについて伝えられています。ご家庭でも、お子さんの成長を認め一緒に喜んでいただき、課題につきまちは親子で共有して少しずつ改善していくよう、声かけとサポートをお願いいたします。家族による称賛や励ましは子どもの大きな自信となり、自己肯定感・自己有用感を育みます。どうぞよろしくお祈りします。

明日からの夏休みは、是非ご家族の絆を深める機会としていただければと思います。また、交通事故や水、火、不審者による事故などにもお気を付けいただきたいと思ひます。

子ども達にとって有意義な夏休みになりますように願っております。

■さて、最近、子どもとの向き合い方に悩みを抱えるご家庭があると聞きます。私も一人の親として興味深い記事を見つけたので紹介します。

【親としてもつべき4つの基軸】

子ども教育 NPO 法人コチカラ・ニッポン代表 川島高之さん

1 親は、「子どものチカラを信じる」こと

子ども教育の目的は、「子どもが自立した社会人になる」ためです。そして、自立するために重要なことは、「自分のチカラで進もうとする意志と、自分は価値ある存在なんだという自己肯定感」を子どもがもてるようになることです。子どもは未熟さがあり、どうしても親は子どもに対して過保護や過干渉、そして否定的になりがちなものです。だから、子どもが自主性と自己肯定感をもつことにつながる言動をとることが大切です。

2 親は、「子どもから逃げず」に向き合うこと

子どもが成長する上で一番大切なのは、親子間に「信頼」があることです。そして、信頼し合うために重要なことは、親子間で双方向性があり、互いの意見や立場を尊重し合う関係になることです。子どもに問題が発生したときこそ、互いに協力し合う関係につながるための言動をとることが大切です。

3 親は、子どもにとっての「社会のウィンドウ」になること

子どもは、何年かすれば「社会」に出ることになります。そして、社会に出るための準備として重要なことは、子どもが「社会について関心と皮膚感覚をもつ」ことです。しかし、昨今の教育環境やコミュニティーを見ていると、子どもが社会と接する機会が少なく、机上の論理や教科的知識だけをもって社会に「放り出される」子どもが多いです。だから、「親が子どもと社会の架け橋（社会のウィンドウ）」になるための言動をとることが大切です。

4 そして、「笑っている親」でいること

「大人になること」に魅力を感じている子どもは、幸せな人生を送れるでしょう。そして、子どもが「大人になること」に魅力を感じるために重要なことは、親自身に基軸があり、家庭を大切に、笑顔のある生活を送っていることです。しかし、長期的視点をもてず目先のことや世間体に左右されたり（＝基軸が無い）、家庭を軽視したり、イライラした日々を過ごしている（＝笑顔が無い）親も少なくありません。だから、基軸があり、家庭を大切に、笑顔のある生活を送ることにつながる言動をとることが大切です。

■子どもが心から安心して過ごせる場、自立にむけて力が発揮できる場、魅力のある大人がいる場としての「家庭」を目指すというところでしょうか。子どもと向き合う時間があるときに考えたいことです。

日	曜	8月行事予定	バス時刻	
			1便	2便
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月			
8	火			
9	水			
10	木	学校閉庁日		
11	金	山の日		
12	土			
13	日			
14	月	学校閉庁日		
15	火	学校閉庁日		
16	水			
17	木	2学期始業式 交通安全街頭指導	14:50	
18	金	ハッピータイム	14:50	16:00
19	土			
20	日			
21	月	生活リズムチェック週間（～25日）	14:50	16:00
22	火	風っ子農園活動	14:50	16:00
23	水	特別日課 文化鑑賞会	14:50	
24	木	放課後学習 図書館バス	14:50	16:00
25	金	スマホ・携帯安全教室 児童委員会	14:50	16:00
26	土			
27	日			
28	月	スクリーニング検査	13:30	16:00
29	火	お話し会（3年生）	14:50	16:00
30	水	特別日課	14:50	
31	木	放課後学習 図書館バス	14:50	16:00

*週ごとの詳しい予定については、時間割でご確認ください。

*10日、14日、15日は学校閉庁日となります。

「いじめアンケート調査の結果から

道教委が行ういじめアンケート調査は年に2回あります。今回は、6月に実施したアンケートについて結果を取りまとめ、個々の事柄について対応しました。

今回の調査で「いやなおもいをしたことがある」と回答したのは、次の通りです。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数	3	11	7	7	4	2

この結果を受け、学校では「嫌な思い」とはどのようなものであったのか、それぞれについて確認するため、丁寧に聞き取りを行いました。そして、「小さいいじめも決して見逃してはならない」という視点に基づき、学校ではこの全てについて「いじめ」として認知することにしています。いわゆる「積極的認知」というものです。

全てのものについて聞き取りを行った結果、今回嫌な思いをしたケースの多くは「友だちとの関わり合いの中でのこと」であり、他には「きょうだいや家族とのこと」などもありました。

「友だちとの関わり合い」の中で嫌な思いをしたケースについて確認すると、学校で生活している中でのこと他に、放課後に一緒に楽しく遊んでいる中でのことなども挙げられておりました。

いずれも、その場ですぐに自分たちで解決できていたり、教師の指導や家庭のご協力によって解決されていたりしていることから、今回取りあげられているものについては、「重大いじめ」に該当するものではありません。

しかし、学校では、これで解決済みであるとはせず、今後も油断することなく今回取りあげられた事柄の一つ一つについて引き続き注意して様子を見守り、気になったときには素早く、的確な対応を行っていきます。

子どもたちは、学校以外の場所でも様々なところで遊んだり、活動したりしています。ご家庭や地域の皆様におかれましても、同様に子どもたちの様子を見守り、声かけやご指導をいただけますよう、よろしくお願い致します。

いじめの未然防止、早期発見のためには、学校、家庭、地域が一丸となって取り組むことが重要であると考えます。学校のホームページには、いじめ防止の取り組みとして「標茶小学校 いじめ防止基本方針」を掲載しております。ぜひ、一度ご覧ください。



北海道について学ぼう!

7月17日は北海道みんなの日（略して「道みんなの日」）です。全校朝会では校長先生がクイズを交えてお話してくれました。楽しく北海道について学ぶことができました。図書コーナーには、北海道に関するたくさんの本を集め、特設コーナーも準備しました。総合的な学習の時間には標茶のまちのよさを再発見する学習もしています。

標茶小学校では、ふるさとの良さを知り、ふるさとを愛する子どもたちを育てていくため、様々な取り組みを行っています。



めずらしい石さがし

「子どもは外で元気に遊ぶもの」と思われがちですが、外遊びをあまりしつけない児童も意外と見られます。

「めずらしい石を探そう!」外に出て、活動する機会を作ってみました。「外に出るだけでも体は元気になります。」の呼びかけに、普段外にあまり出ない子ども、喜んで石を探す姿が見られました。

「これはどう?」ニコニコと手のひらに石を乗せ、集まってくる子どもたち。

見つけためずらしい石を見せてくれたところをカメラで撮影すると、たくさんの笑顔が集まりました。



車椅子体験

6年生は総合的な学習の時間で福祉について学んでいます。今回は、社会福祉協議会様から車椅子をお借りして体験してみました。

実際に車椅子に乗ってみたり、介助してみたりするとたくさんの細やかな気遣いが必要であることに気づくことができました。体験することの重要性をあらためて感じることもできました。ご協力、誠にありがとうございました。



児童会あいさつ運動

「笑顔の花咲け、標茶小学校!」今年度、児童会が掲げたスローガンです。

朝の児童玄関では、みんなの元気な挨拶が飛び交っています。1年生から6年生まで、学年関係なく、挨拶を交わします。ここでも高学年のリーダー性がよく発揮されているのを感じます。



ハッピータイム

自尊感情を育てる指導として行っている「ハッピータイム」今回は、感受性の促進を目的とした『背中合わせの会話』をしました。

2人で背中合わせになり、1人が黙ったまま「赤・青・緑・黄色・黒」から選び、心の奥底から念じて、相手に気持ちを伝えます。もう1人は、それを感じ取るようにします。あたりはズレだけでなく、自分が感じたことを大切にしてほしい『背中合わせの会話』ぬくもりのある取り組みが行われています。

